

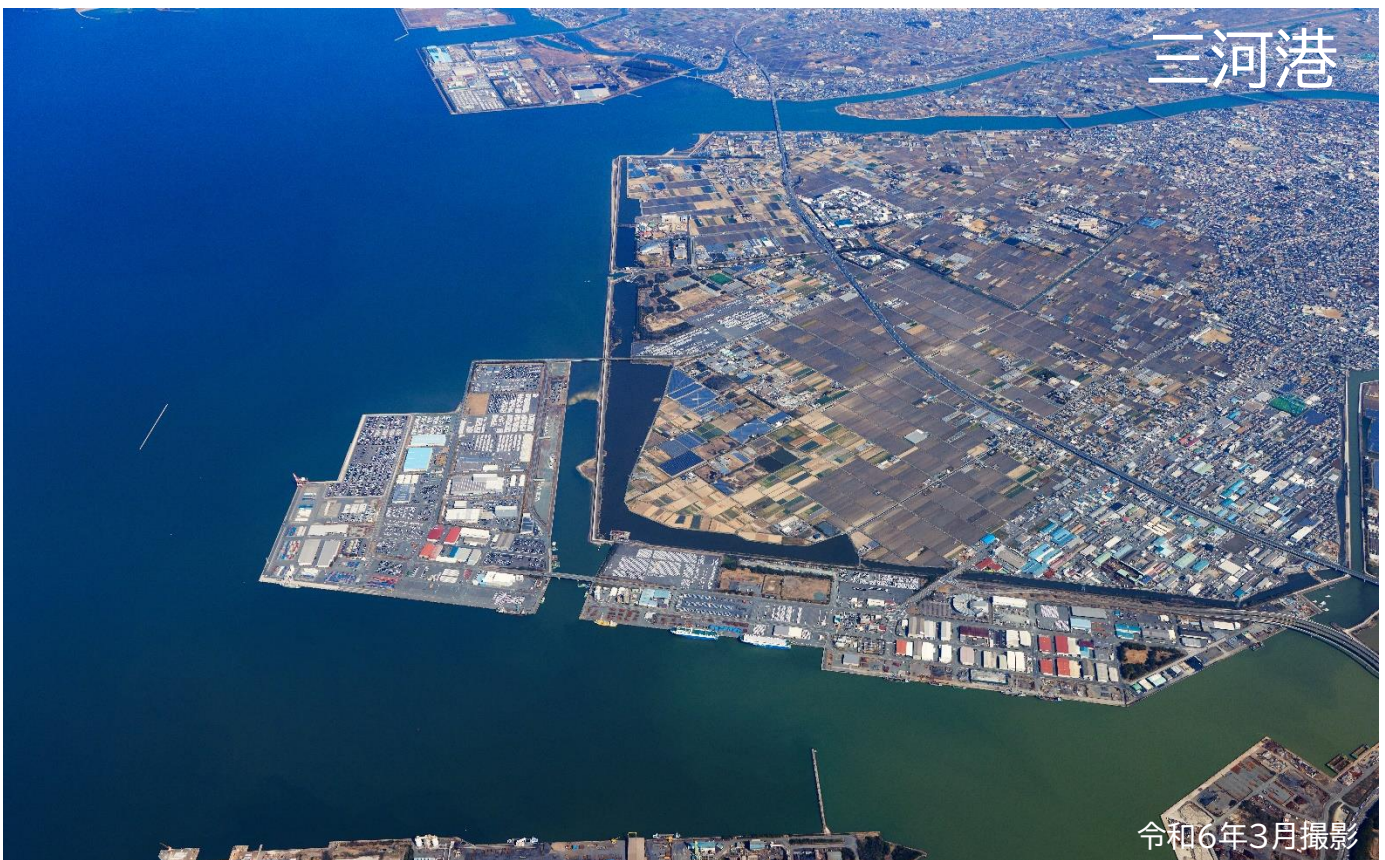
令和6年 事業概要

衣浦港



令和6年2月撮影

三河港

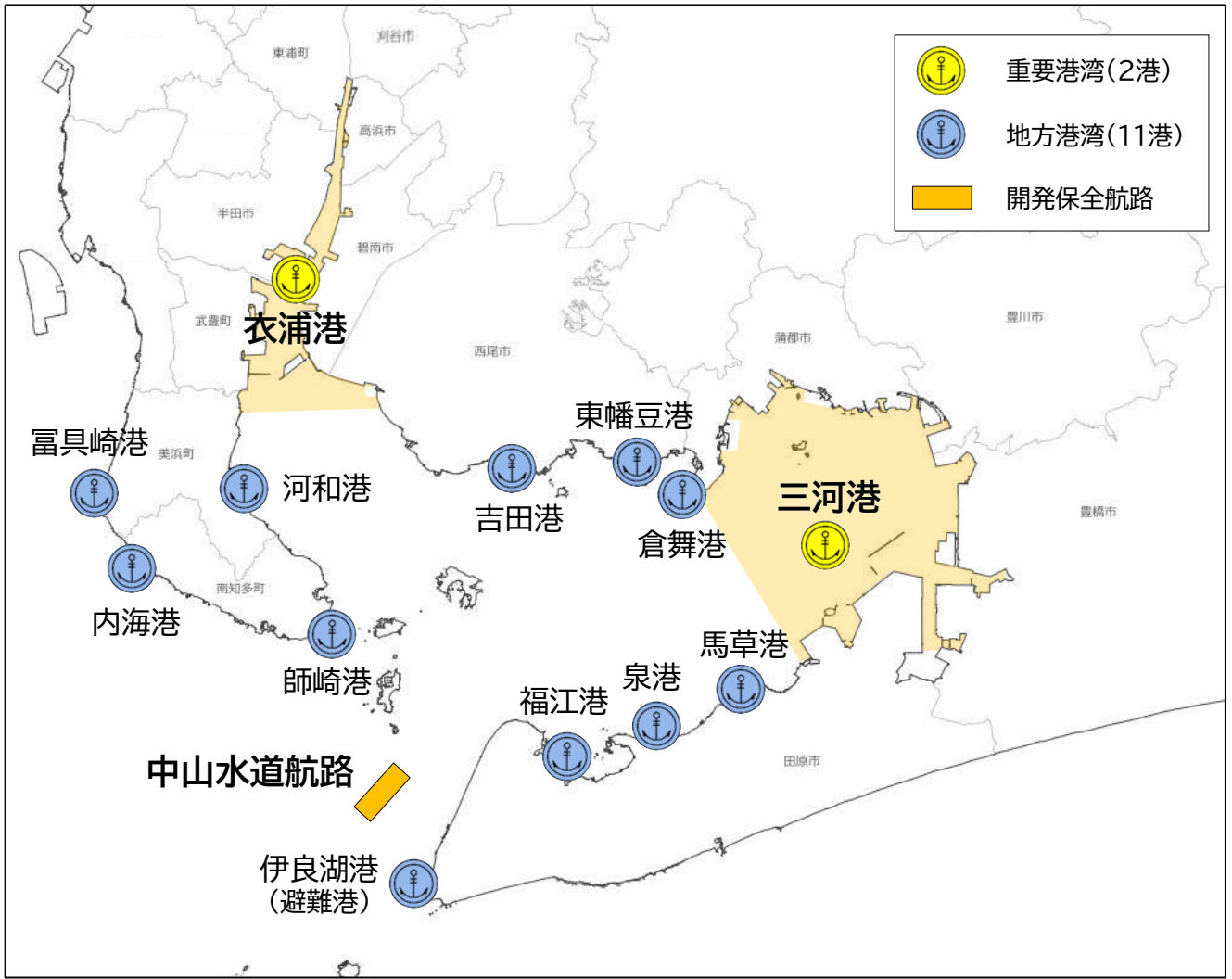


令和6年3月撮影

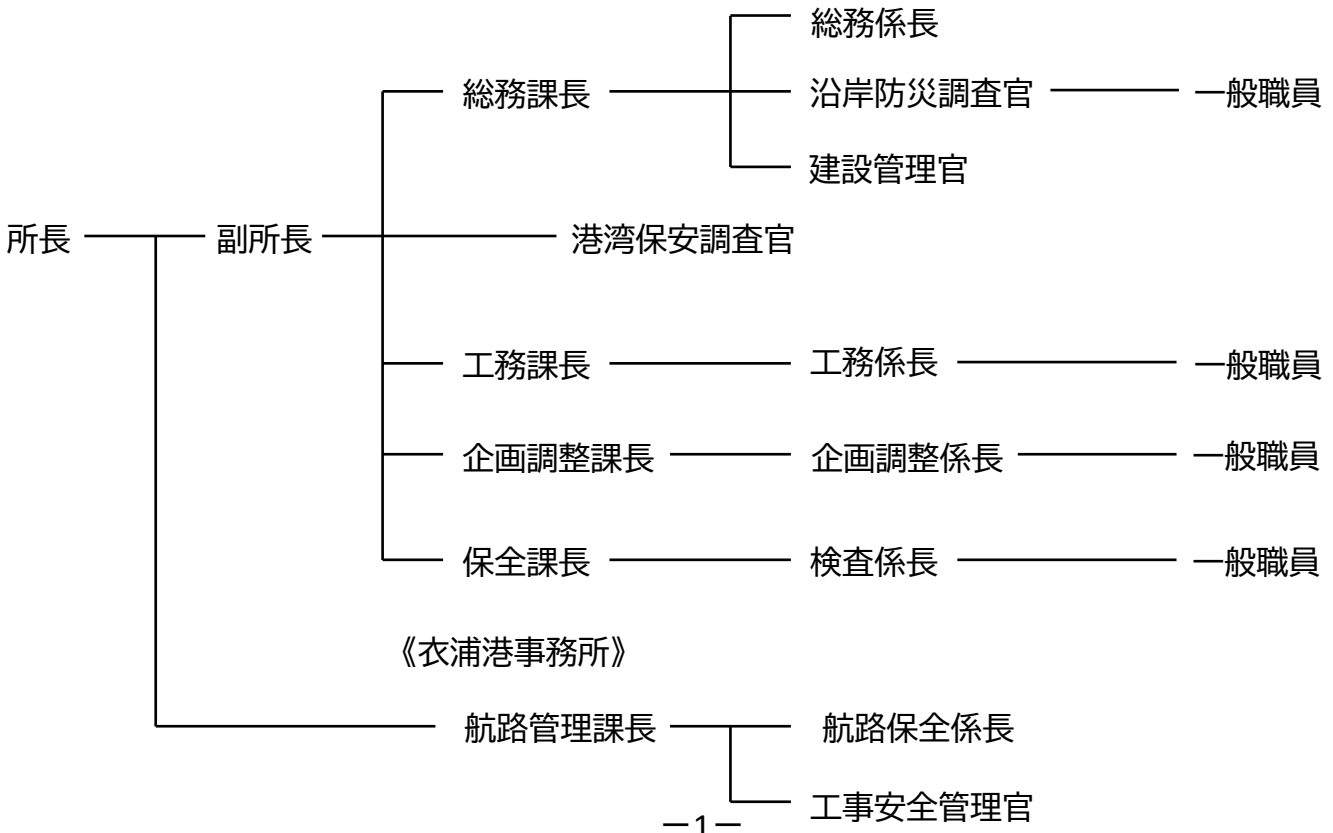
令和6年4月

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所

1.三河港湾事務所管内図



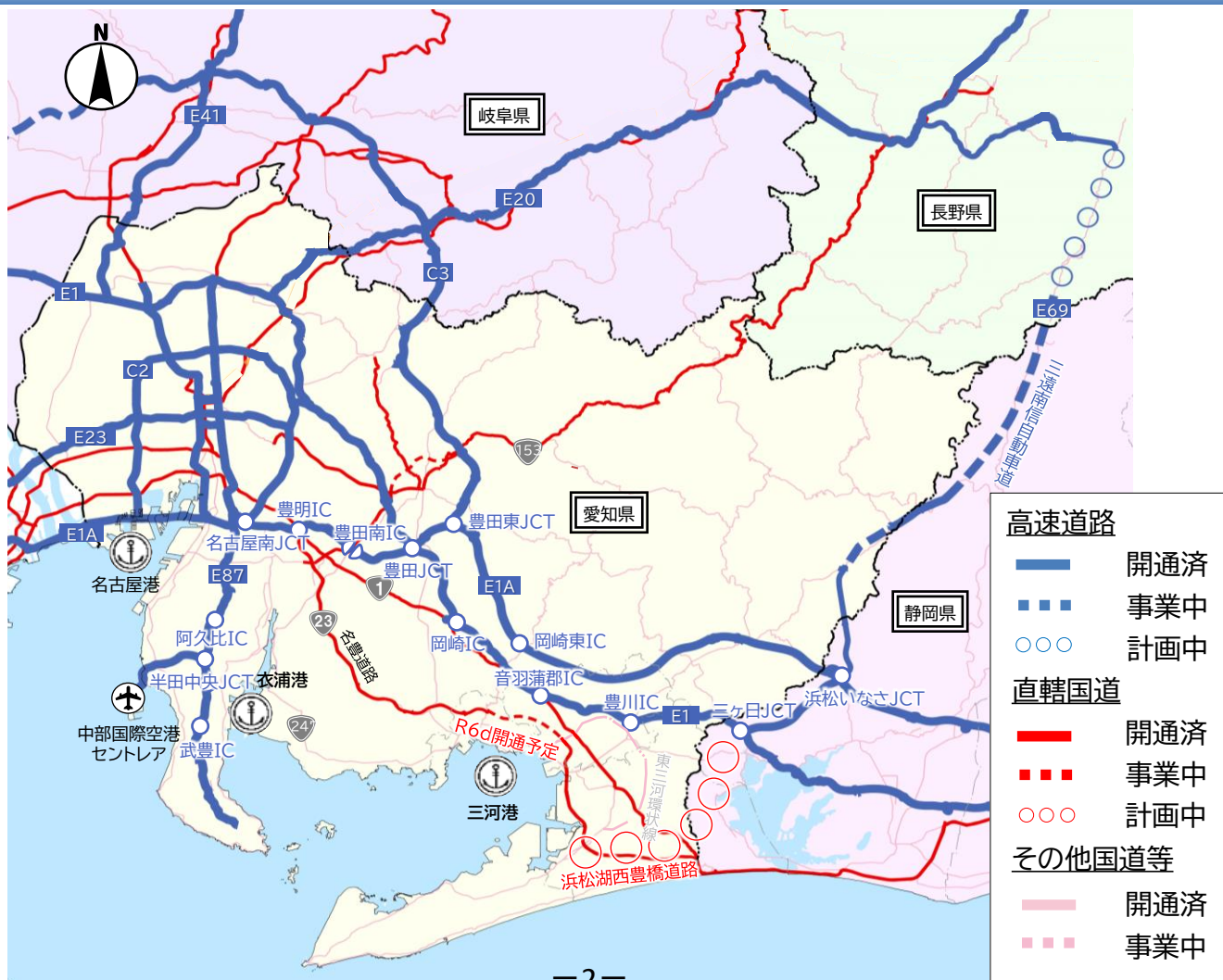
2.三河港湾事務所の組織体制



3. 予算

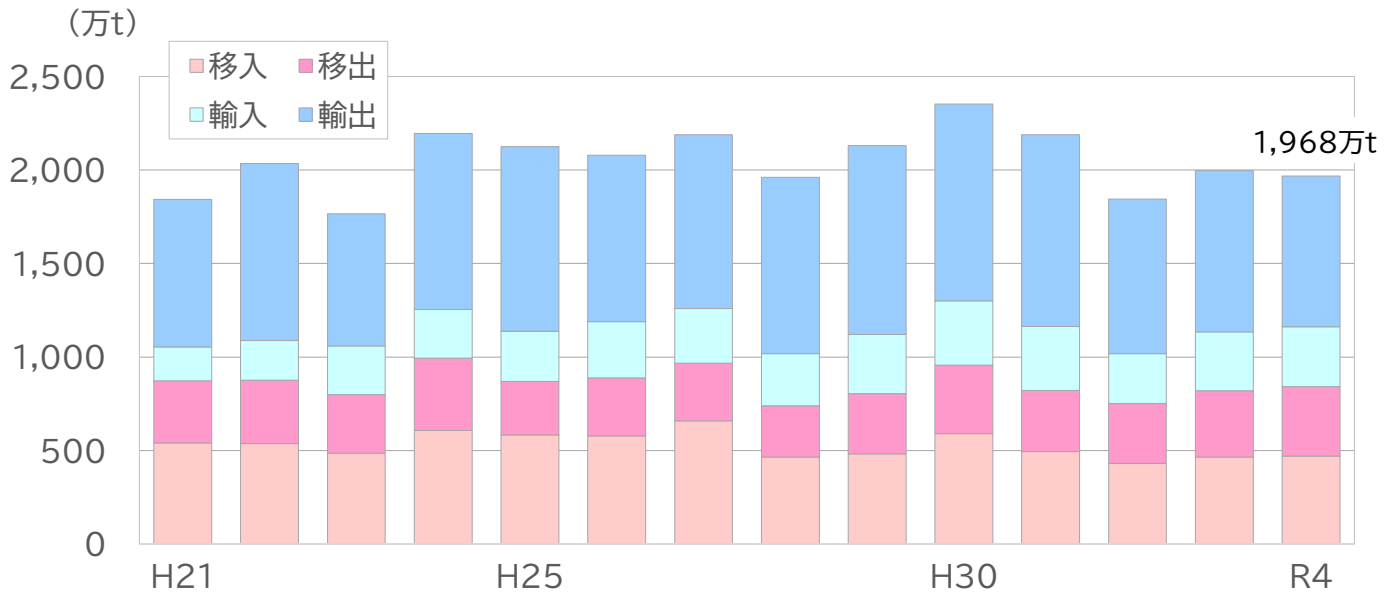
港名	事業費(百万円)						施設名
	令和5年度			令和6年度			
	R4 補正	R5 当初	計	R5 補正	R6 当初	計	
三河港	250	260	510	100	460	560	・防波堤(北) ・岸壁(-10m)
衣浦港	290	332	622	307	325	632	・岸壁(-12m) ・西防波堤 ・航路(-12m)
中山水道航路	-	100	100		150	150	・航路(-14m)
合計	540	692	1,232	407	935	1,342	

4. 背後圏の道路ネットワーク



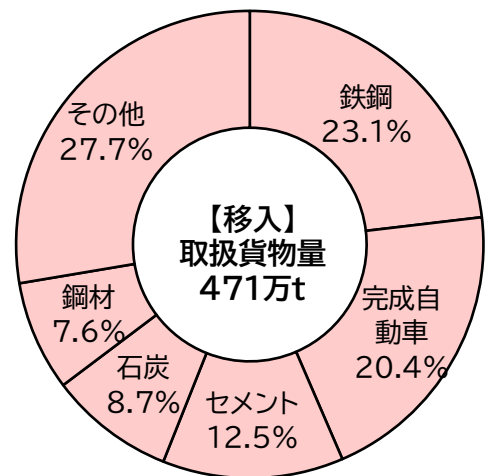
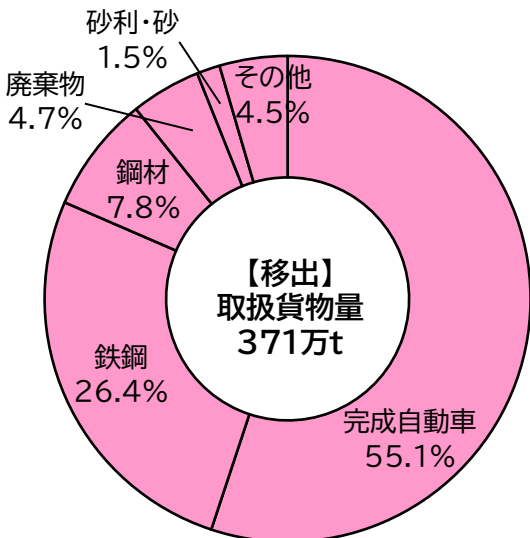
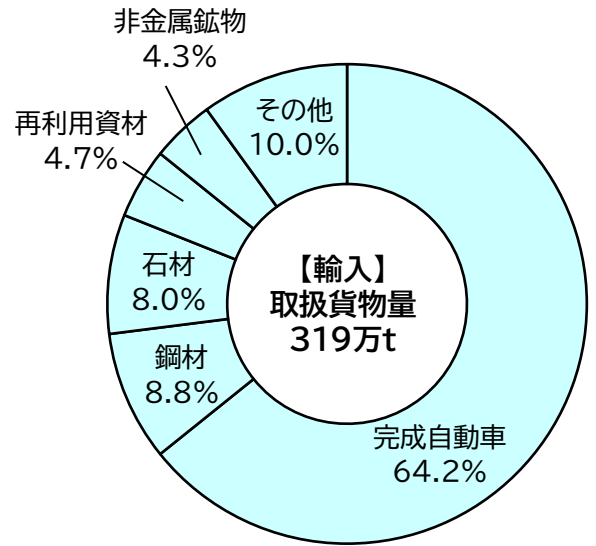
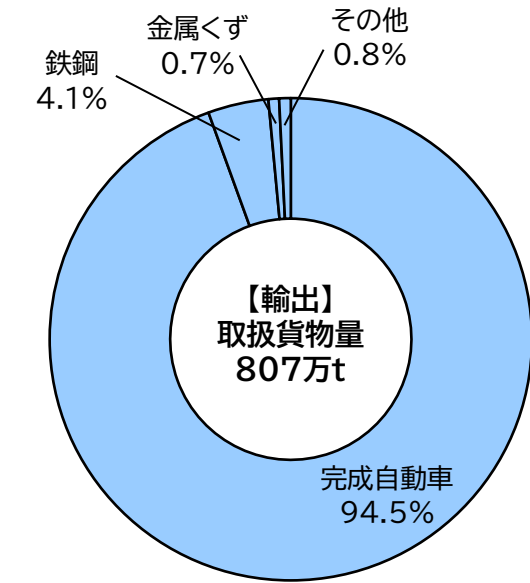
5.三河港の港勢

取扱貨物量の推移

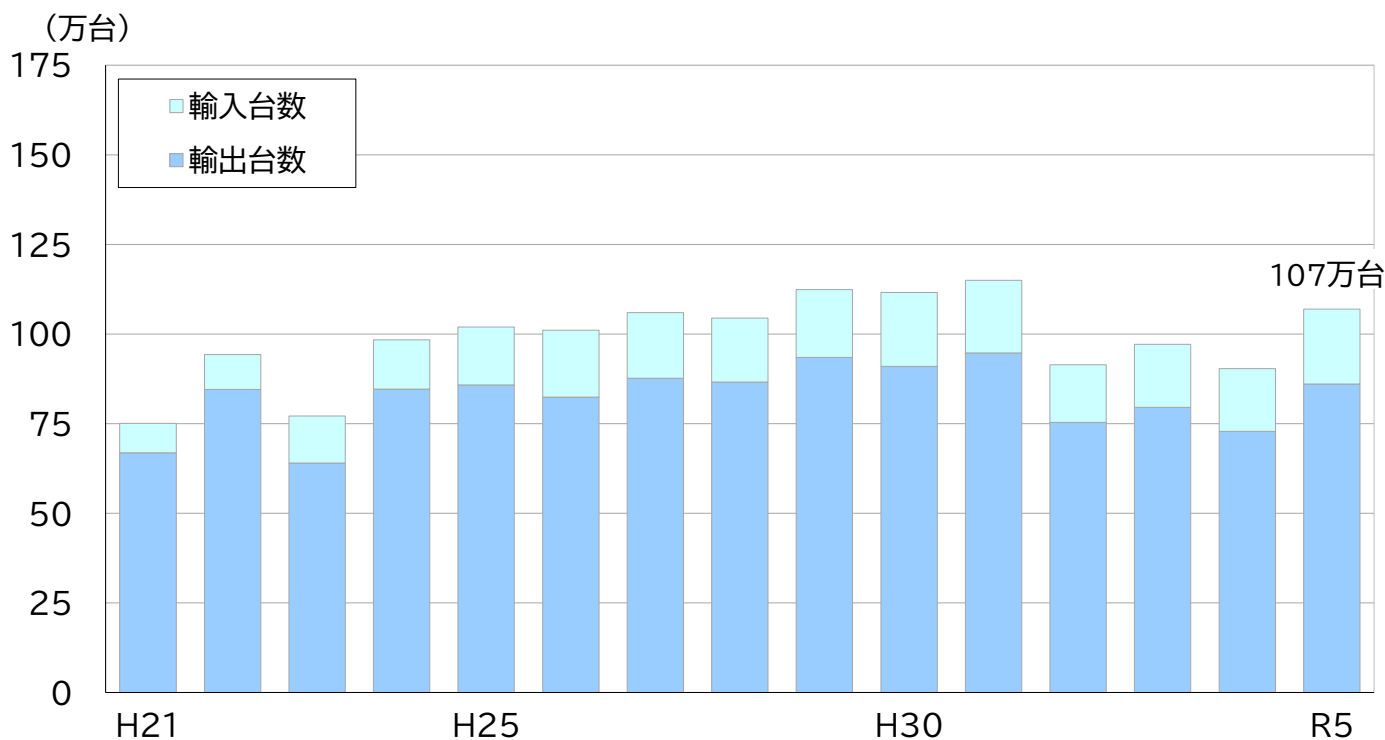


資料:三河港統計年報をもとに中部地方整備局作成

取扱貨物の品種別割合(令和4年 速報)



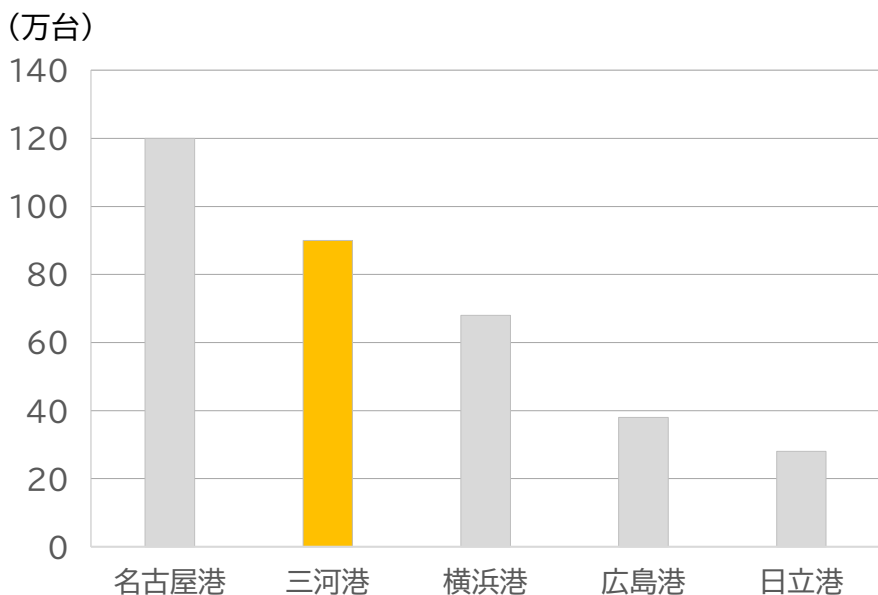
完成自動車の取扱状況(令和5年速報値)



資料:財務省貿易統計をもとに中部地方整備局作成

輸出台数 21万台	31年連続全国1位	輸出台数 86万台	7年連続全国2位
--------------	-----------	--------------	----------

日本の港湾の完成自動車取扱台数 上位5港(令和4年)



資料:財務省貿易統計をもとに中部地方整備局作成



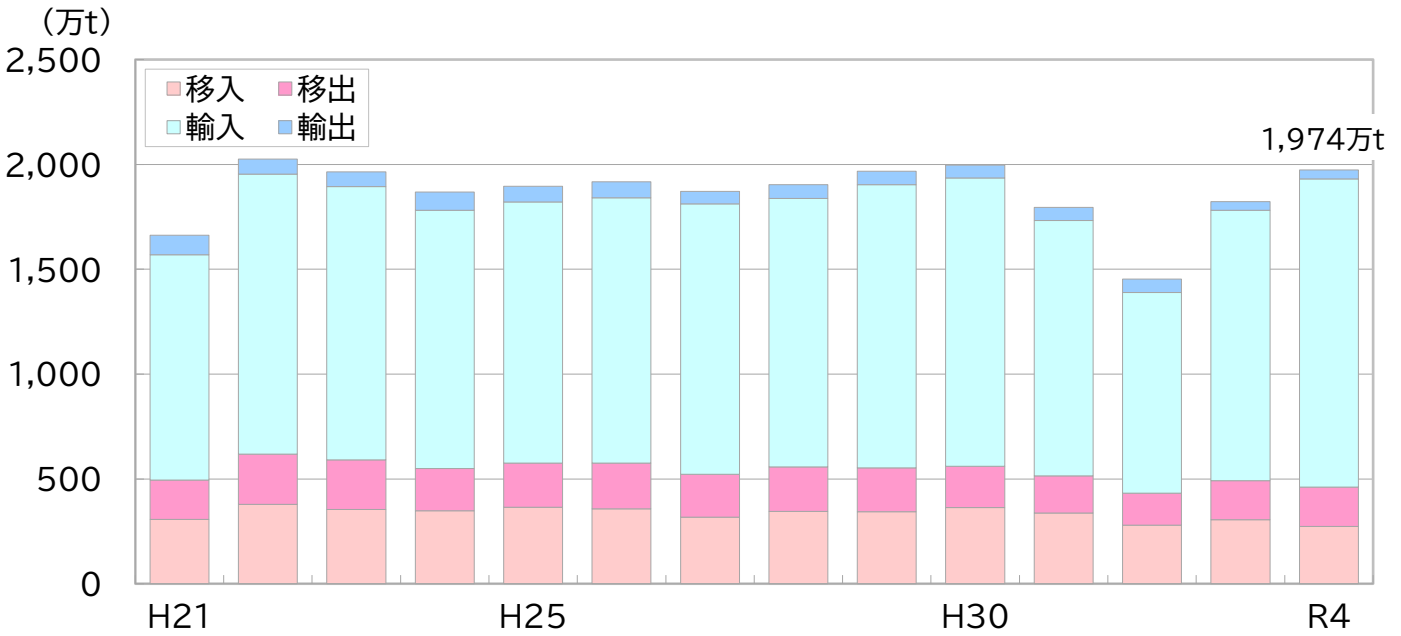
モータープール(神野地区)



荷役の様子

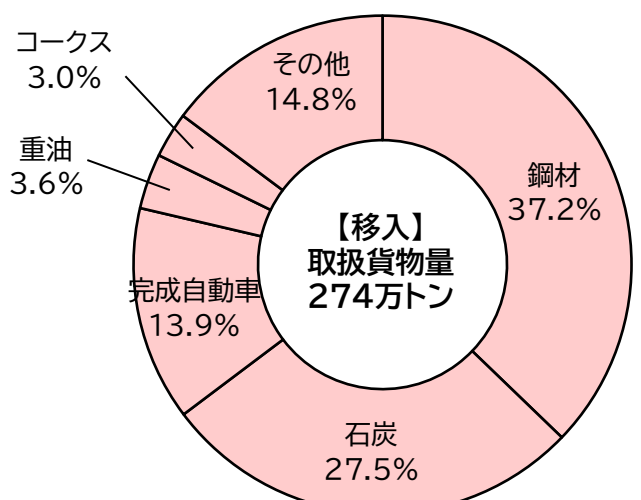
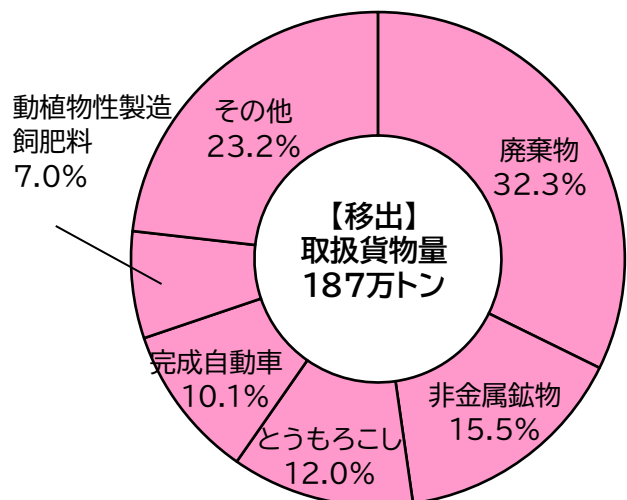
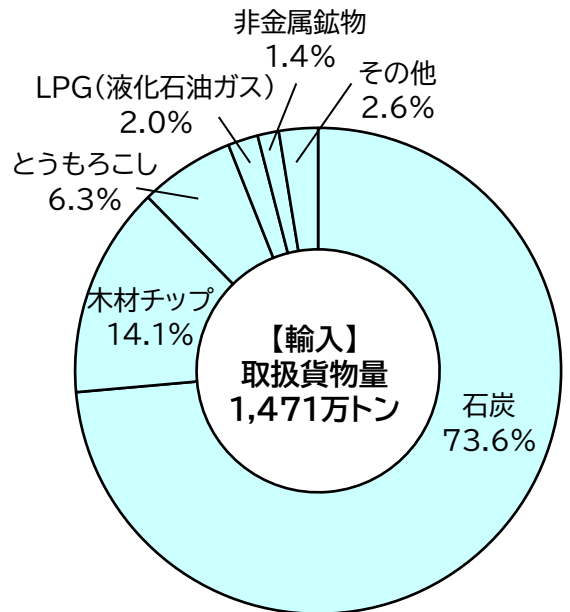
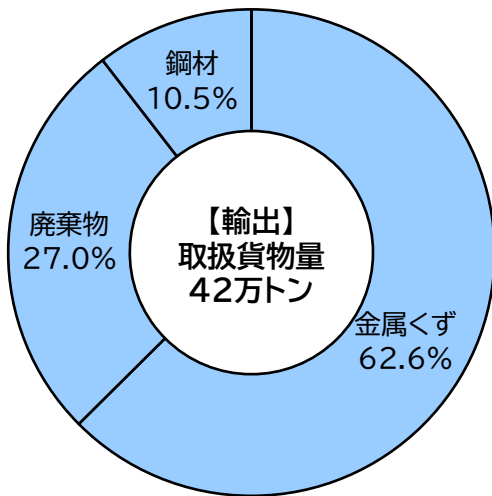
6.衣浦港の港勢

取扱貨物量の推移



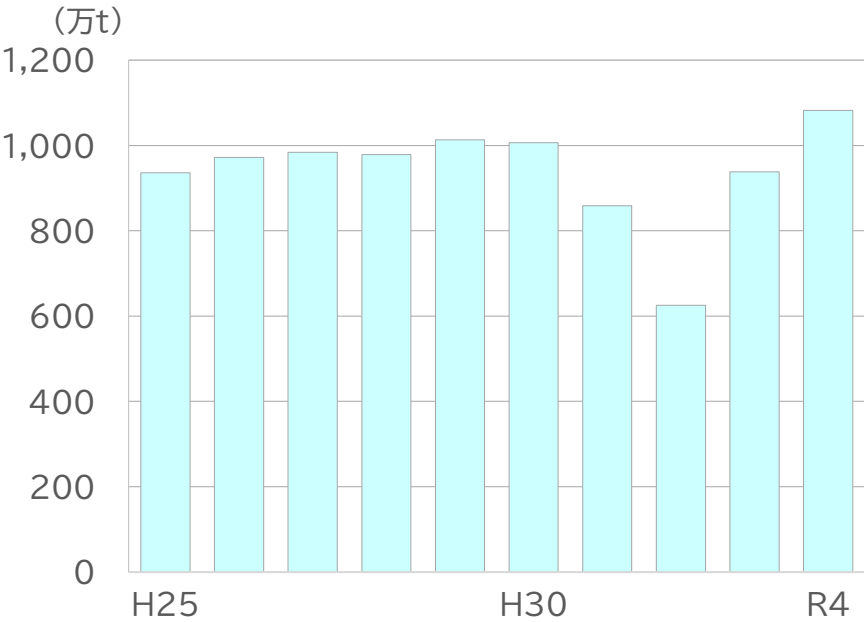
資料:衣浦港統計年報をもとに中部地方整備局作成

取扱貨物の品種別割合(令和4年 速報)



主要取扱貨物の動向

石炭の取扱貨物量(輸入)の推移



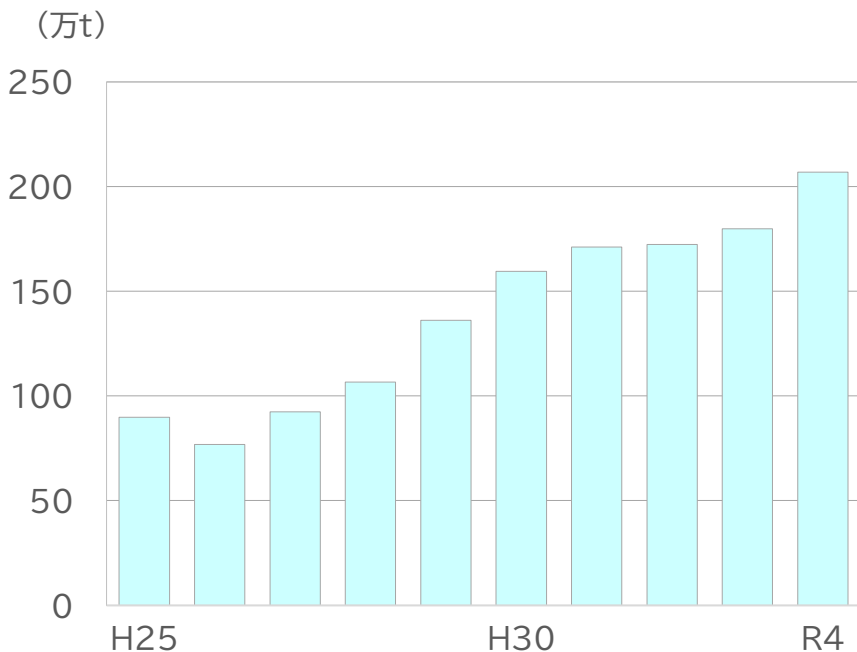
石炭 輸入量(令和4年)
1,082万t 全国1位



荷役の様子(石炭)

資料:衣浦港統計年報、港湾統計(年報)をもとに中部地方整備局作成

木材チップの取扱貨物量(輸入)の推移



木材チップ 輸入量(令和4年)
206万t 全国3位



荷役の様子(木材チップ)

資料:衣浦港統計年報、港湾統計(年報)をもとに中部地方整備局作成

●直轄事業の概要

1.三河港 神野地区国際物流ターミナル整備事業

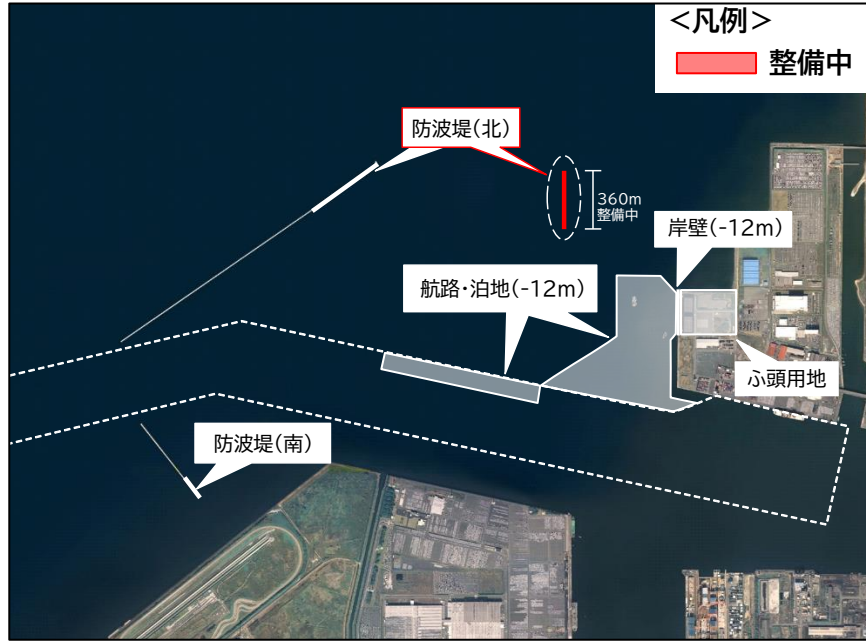
【事業概要】

背後地域の将来コンテナ貨物需要の増加への対応及び、物流機能の効率化を図るため岸壁(-12m)を整備しました。現在は、港内の静穏度を確保し円滑かつ安全な荷役を可能とするため、防波堤(北)の整備しています。

[事業期間] 平成4年度～令和6年度

[総事業費] 249億円

施設名	事業全体	進捗
防波堤(北)	792m	整備中 うち432mは完了
防波堤(南)	97m	完了
岸壁(-12m)	1バース	完了
航路・泊地(-12m)	35ha	完了
荷役機械	2基	完了
心頭用地	8.0ha	完了

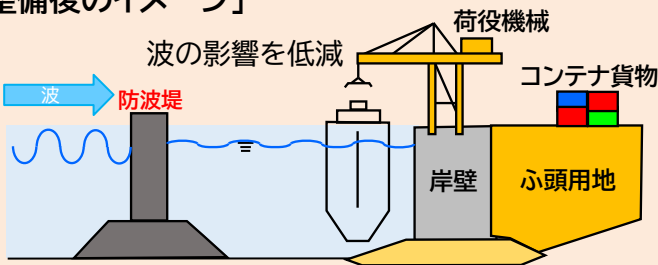


【整備中の施設】

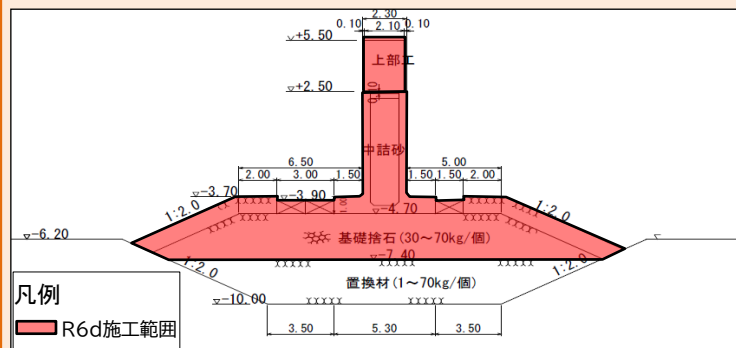
○防波堤(北)【令和6年度完了予定】

船舶の着岸時や荷役時における波の影響を小さくするため防波堤の整備しています。

【整備後のイメージ】



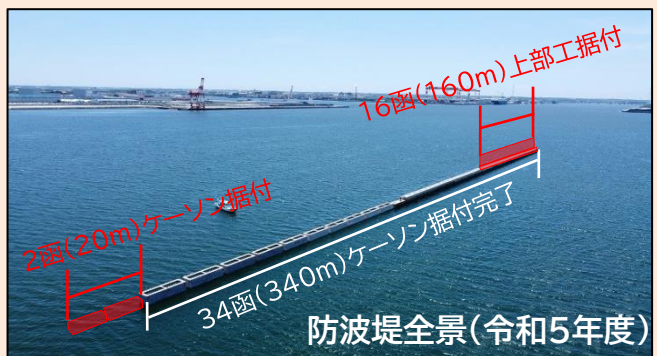
【断面図】



【現場写真】



防波堤本体部の据付



防波堤全景(令和5年度)

2. 衣浦港 武豊北心頭地区国際物流ターミナル整備事業

【事業概要】

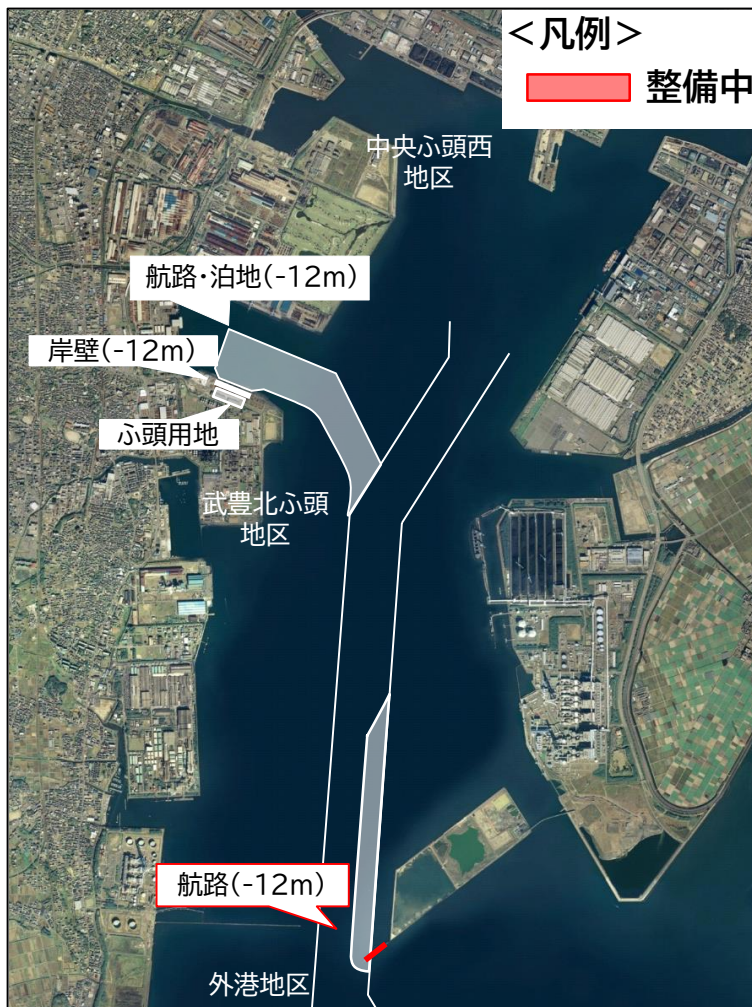
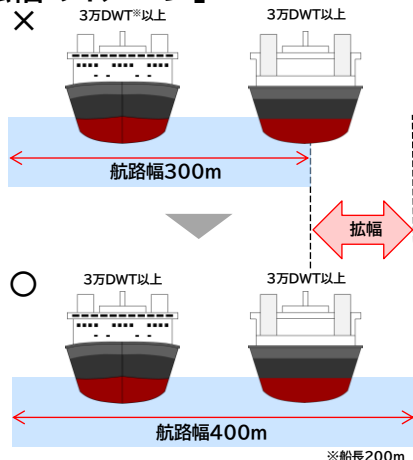
取扱貨物量の増加に対応するため、岸壁(-12m)を整備しました。現在は、衣浦港に入港する船舶の大型化に対応し、物流機能の効率化を図るため、航路(-12m)を拡幅しています。

【事業期間】 昭和61年度～令和7年度

【総事業費】 152億円

施設名	事業全体	進捗
航路(-12m)	18ha	整備中
航路・泊地(-12m)	54ha	完了
岸壁(-12m)	240m	完了
心頭用地	2ha	完了

【航路拡幅のイメージ】

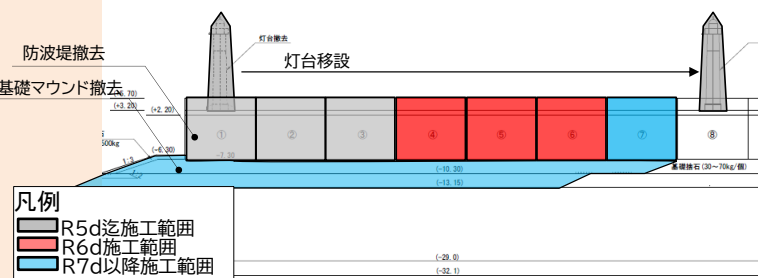


【整備中の施設】

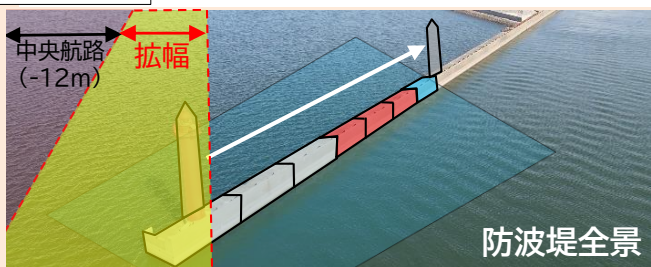
○航路(-12m)

衣浦港に入港する船舶の大型化に対応するため、航路の拡幅(1.5L(300m)から2L(400m))を実施しています。

【断面図】



【現場写真】



3. 港湾施設の老朽化対策の推進

【施策の目的】

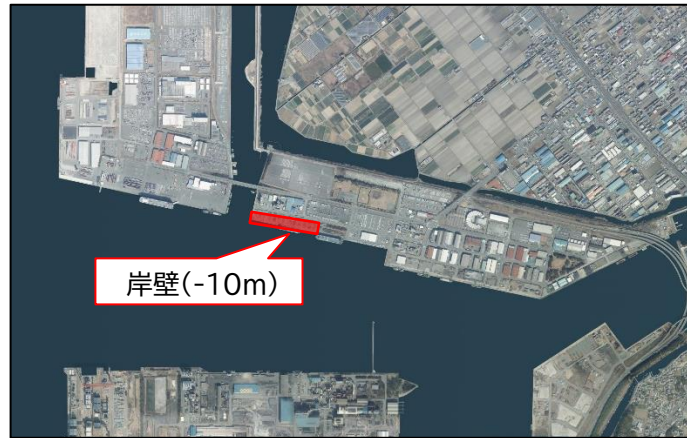
老朽化に伴う港湾施設の効用・性能の低下など、物理的条件の変化に対応し、抜本的な工事が必要となる状態に至る前に、施設が有する従来の効用を取り戻しつつライフサイクルの延命化と全体のライフサイクルコストの縮減を図ることを目的としています。

【予防保全事業】

【三河港】

○岸壁(-10m)(改良)【整備中】

当岸壁は、鉄鋼やセメントなどのバラ貨物を扱う主要な岸壁です。しかし、完成から約50年が経過しており老朽化による損傷が著しいため、老朽化対策を実施しています。



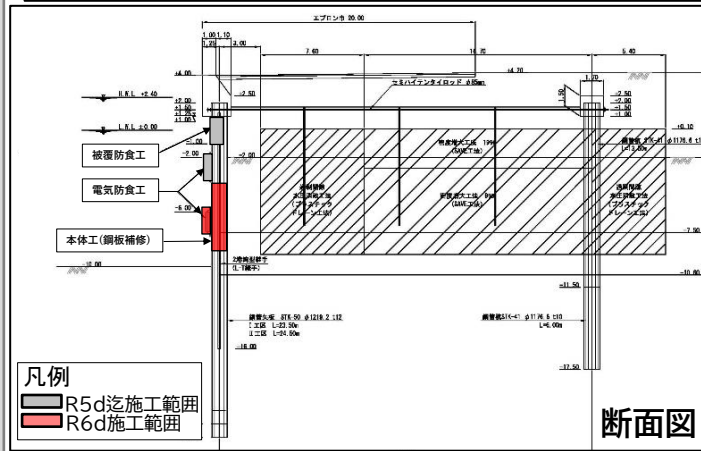
岸壁(-10m)

[事業期間] 令和2年度～

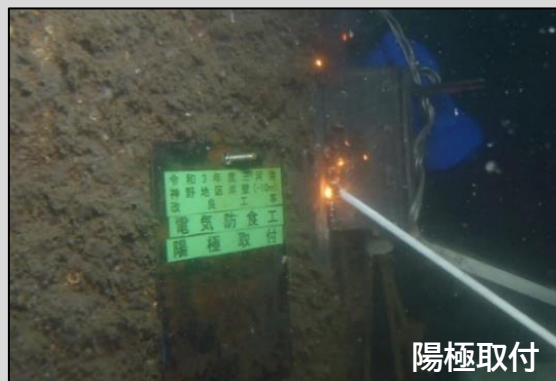
[現場写真]



岸壁全景



【電気防食工】



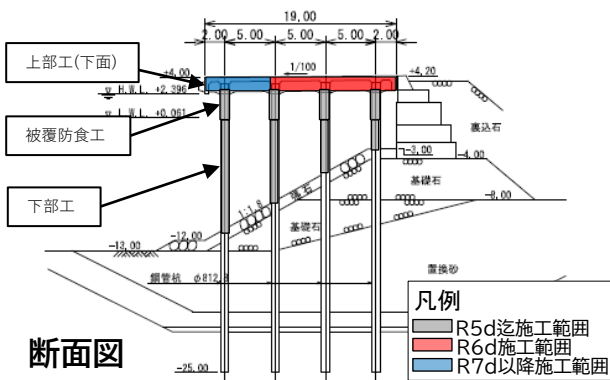
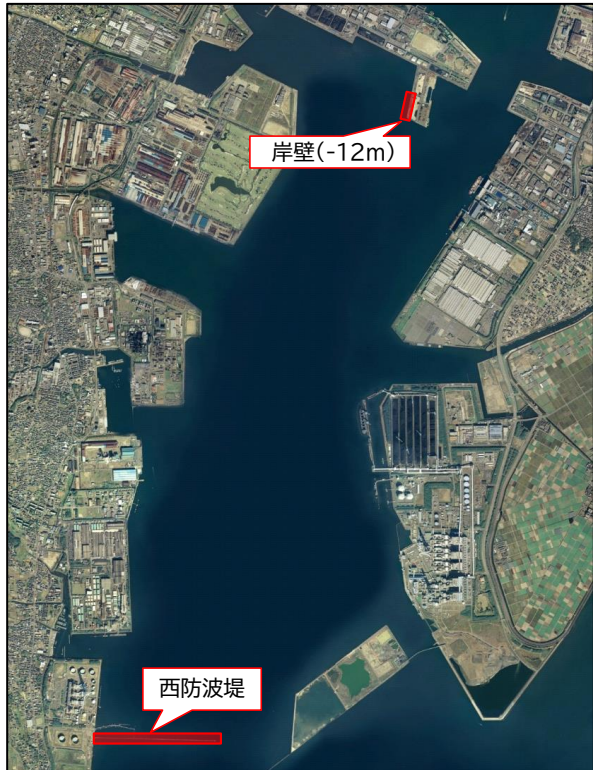
【衣浦港】

○岸壁(-12m)(改良)【整備中】

当岸壁は、木材チップなどのバラ貨物を扱う主要な岸壁です。しかし、完成から約40年が経過しており老朽化による損傷が著しいため、老朽化対策を実施しています。

【事業期間】平成28年度～

【現場写真】

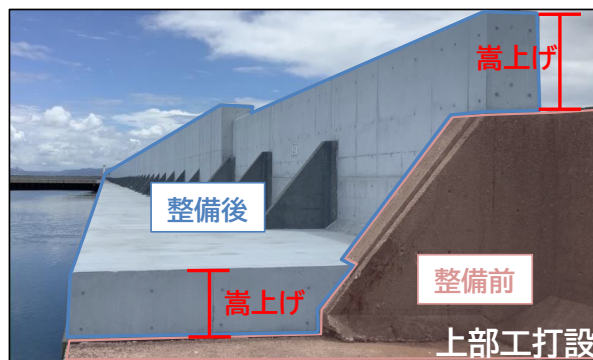


○西防波堤(改良)【整備中】

西防波堤は、完成から約50年が経過しており老朽化による損傷が著しく、大規模地震発生後も高潮に対する防護効果を確保する必要があるため、老朽化対策に合わせた防波堤の改良を実施しています。

【事業期間】令和2年度～

【現場写真】



4. 中山水道航路

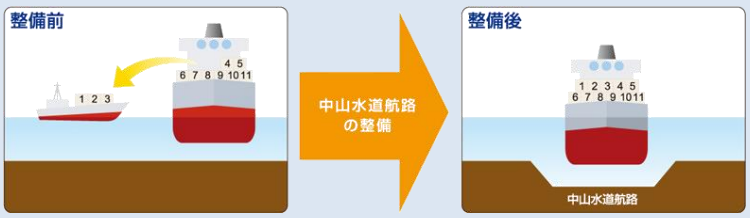
【整備目的】

中山水道航路は三河湾の湾口部に位置し、三河湾諸港へ出入港する海上交通の要衝です。しかし、浅瀬(最浅地点水深8.6m)や暗礁が点在するため、大型船舶の航行が制限され、経済的な運行に支障をきたしていました。

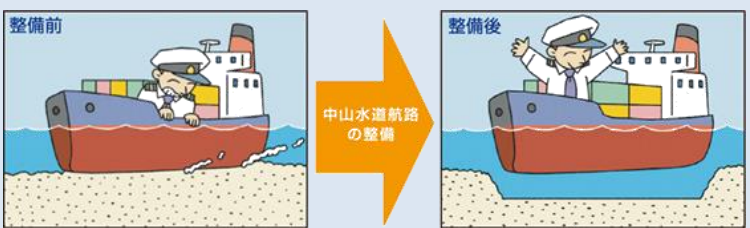
また、付近は三河湾・伊勢湾に出入りする船舶が合流し分流する地点で、船舶が複雑に航行する海域であること、伊勢湾内屈指の好漁場であったことから海難事故の危険性が高い海域でした。

このことから、中山水道航路の整備が求められ、平成元年に開発保全航路として中山水道航路が政令指定されました。

【整備効果】



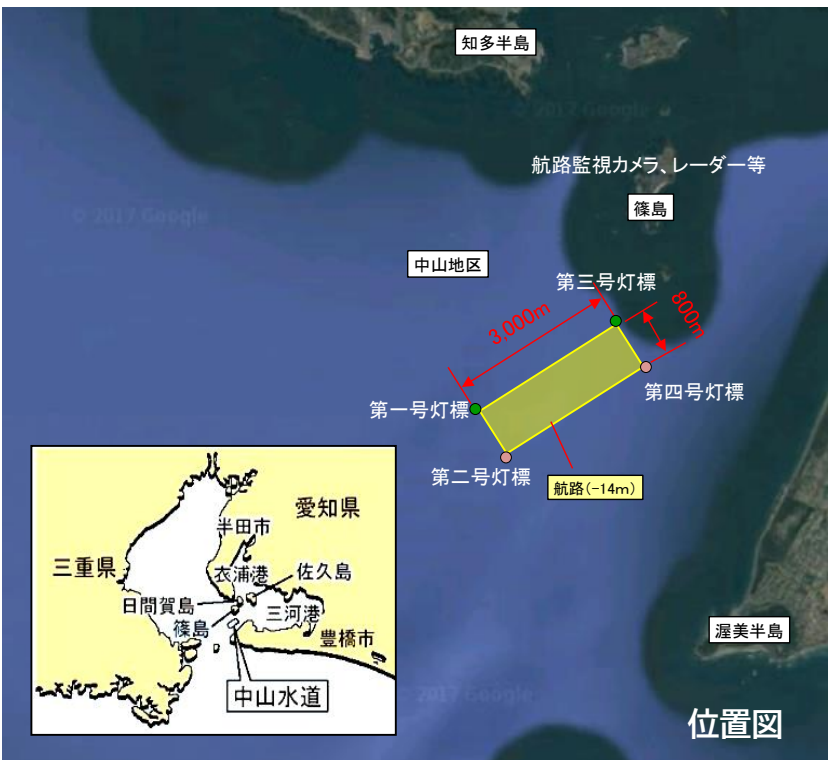
喫水調整による非効率な輸送を改善することができ、輸送費の抑制にも寄与することができます。



船底を損傷するといった不安が解消され、船舶が安心して航行できるようになります。

【保全事業】

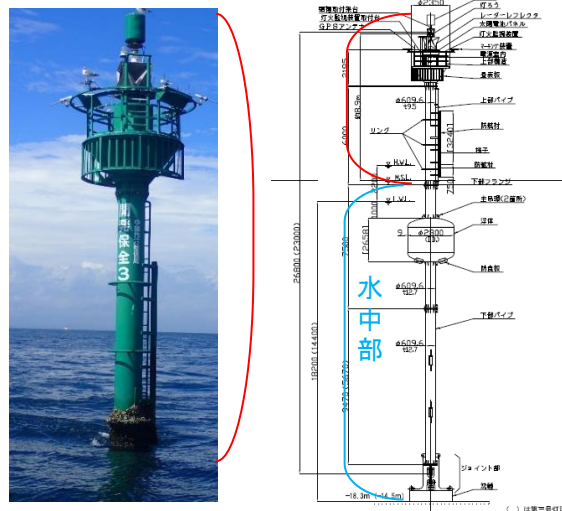
中山水道航路の整備完了後は管理・保全を行っています。航路の四隅にある保全標識の管理、保守・点検及び航路内の違反行為(不法投棄、船舶の放置、不許可による水域占用や土砂採取等)を未然に防止・抑制するため、カメラによる監視や監視パトロール、自然条件による埋没を事前に把握するための管理測量等を行っています。



位置図



【一般図】



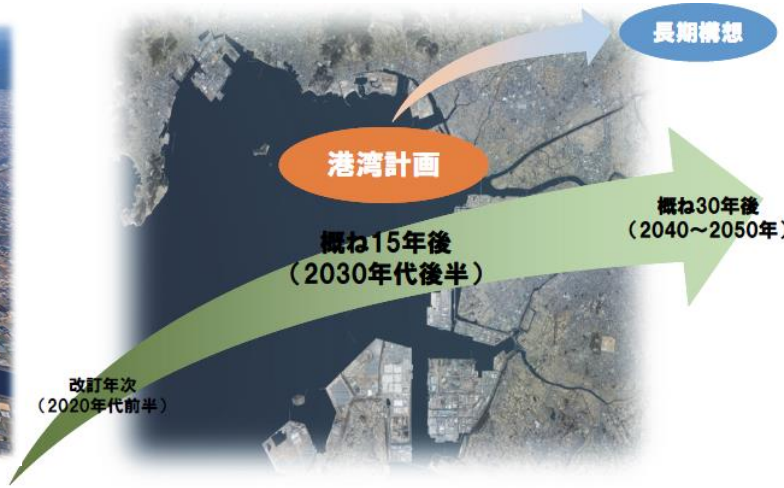
■港湾計画改訂に向けた取組

愛知県は、急速に変化する社会情勢及び港湾への要請に応えていくため、三河港港湾計画の改訂作業を令和元年度より着手し、学識経験者や港湾関係者などと幅広く意見交換を行う場として、三河港港湾計画検討委員会を開催しています。

現計画は平成23年5月に改訂され目標年次は2020年代前半となっており令和2年度におおむね30年後の三河港における基本理念や将来像に基づき空間利用の基本的な方向性を定めた「三河港長期構想」(案)を取りまとめ長期構想を踏まえ港湾計画の改訂作業を実施しています。



三河港の5つの将来像と7つの目標
(出典:愛知県 三河港港湾計画検討委員会)



長期構想、港湾計画の実現のイメージ
(出典 三河港港湾計画検討委員会)

■カーボンニュートラルポート形成に向けた取組

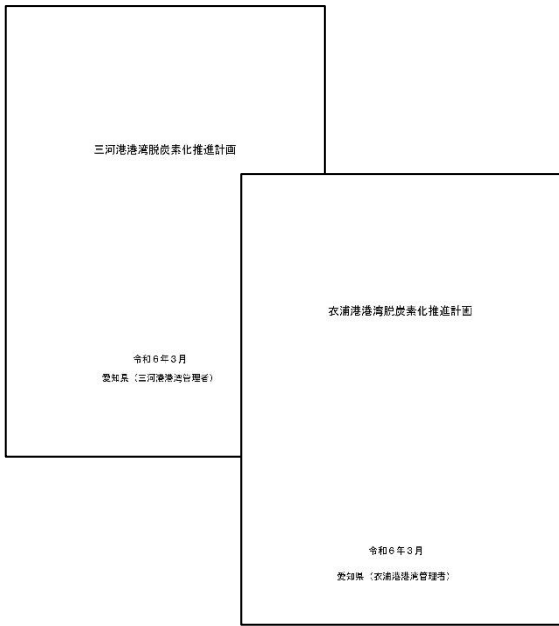
愛知県では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や、水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポートの形成に向け、衣浦港及び三河港において、「港湾脱炭素化推進協議会」を設置しています。

令和6年3月18日に衣浦港、三河港において港湾脱炭素化推進計画が策定されました。



港湾・臨海部の産業構造の転換への貢献
産業のエネルギー転換に必要な水素やアンモニア等の供給に必要な環境整備を進めることで、港湾・臨海部の脱炭素化に貢献

荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成への貢献
世界的なサプライチェーン全体の脱炭素化の要請に対応して、港湾施設の脱炭素化等への取組を進めることで、荷主や船社から選ばれる、競争力のある港湾の形成に貢献



三河港・衣浦港港湾脱炭素化推進計画

カーボンニュートラルポートの形成イメージ(出典:国土交通省 港湾局)

■防災・保安

・港湾業務艇「しおさい」を活用した海上輸送訓練

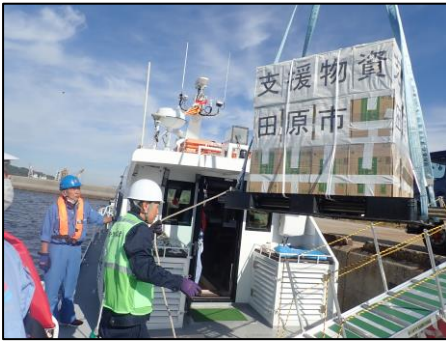
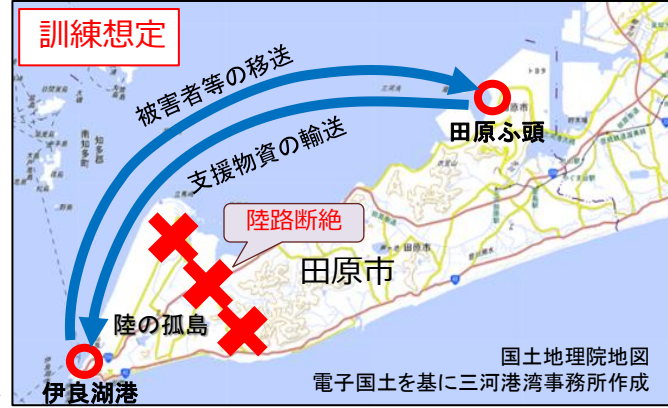
10月23日(月)、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に田原市伊良湖地区において、陸路による支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化(命のネットワークを形成)するため、田原市と合同で三河港田原ふ頭及び伊良湖港において、緊急支援物資の輸送訓練及び被災者等の移送訓練を実施しました。

【訓練内容】

- ①港湾業務艇「しおさい」による三河港田原ふ頭から伊良湖港への緊急支援物資の輸送訓練(積載・荷下ろし作業)
- ②港湾業務艇による伊良湖港から三河港田原ふ頭への被災者等の移送訓練

【訓練参加機関】

田原市、中部地方整備局三河港湾事務所、一般社団法人愛知県トラック協会田原陸運協会、名鉄海上観光船株式会社、伊良湖地区コミュニティ協議会



緊急支援物資の積み込み(田原ふ頭)



乗船する被災者等(伊良湖港)

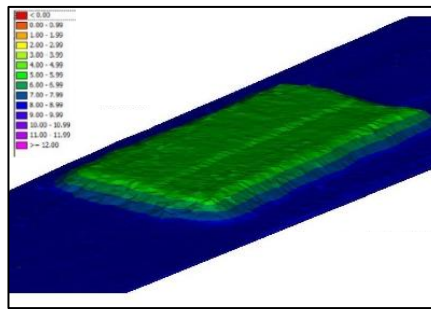
・ナローマルチビーム・ドローンの習熟訓練

通常業務における利活用に加え、災害時の被災情報等の収集・把握するため、UAV、ナローマルチビームの操作訓練を定期的実施しています。

今後も引き続き、定期的な訓練及び研修内容を充実させる等、継続的に実施し、各職員の熟度向上に努めます。



マルチビーム習熟訓練の様子



マルチビーム(解析)の様子



ドローン習熟訓練の様子

■港湾保安対策(SOLAS)

2001年9月に発生した米国同時多発テロをきっかけに改正SOLAS条約に対応した「国際船舶・港湾保安法」が成立し同法に基づき、全国の港湾にて港湾保安対策を実施しており、三河港・衣浦港で以下の対策を実施しています。

- ・フェンス、ゲート、監視カメラ等の整備
- ・制限区域の出入り管理、施設内外の監視
- ・定期的な保安訓練の実施など

●その他

■クルーズ船の寄港状況

令和5年度は三河港で3回のクルーズ船が寄港し、令和6年3月5日に外航船アルタニアが初寄港しました。

衣浦港ではにつぼん丸が令和6年1月11日に初寄港しました。

寄港地名	年月日	船名
三河港	令和5年7月30日	につぼん丸
	令和5年11月15日	につぼん丸
	令和6年3月5日	アルタニア (初寄港)
衣浦港	令和6年1月11日	につぼん丸 (初寄港)



三河港（蒲郡地区）に寄港した「アルタニア」



衣浦港（亀崎地区）に寄港した「につぼん丸」とお見送りに訪れた多くの人たち



■みなとの賑わい空間の創出

三河港蒲郡地区では蒲郡市が東港地区（蒲郡駅周辺、竹島埠頭、東港埋め立て地及び竹島周辺）を対象に市民や訪れる人々が行き交い、憩い、多様な活動を行う場へ変えていくことにより「居心地がよく歩きたくなるまちなか」づくりを目指し蒲郡市東港地区まちづくりビジョンを策定しました。

ビジョンに基づいたまちづくりの推進を図るため、専門的知見及び地域の意見を踏まえて、市に対して提言又は助言を行う蒲郡市東港地区まちづくり協議会を設置しまちづくり計画の策定などを進めていきます。



蒲郡市東港地区まちづくりビジョンの対象エリア（出典：蒲郡市東港地区まちづくりビジョン）

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所



住所	〒441-8075 愛知県豊橋市神野埠頭町1番地1
TEL	(0532)32-3251
FAX	(0532)32-5049
E-mail (代表)	pa.cbr-info- mikawa@mlit.go.jp
URL	http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/
Face book	https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp



衣浦港事務所



住所	〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL	(0569)21-2311
FAX	(0569)21-2312

